

常盤まちづくりセンターへのアクセス

(旧 常盤市民センター)〒525-0006 草津市志那中町111番地1

【車でお越しの場合】

- 名神「栗東IC」から約25分
- 名神「瀬田西IC」または新名神「草津田上IC」から約30分

駐車場
約60台
無料

【鉄道・バスでお越しの場合】

- JR琵琶湖線「草津駅」下車
(新快速で京都から約20分)
- JR草津駅「西口」2番バス乗り場から、近江鉄道バス 琵琶湖博物館行き「穴村」下車(約10分)。徒歩約2分



バス運行情報

【期間】2019年 5月3日(金)～5日(日)
【時間】10:00～15:20(1時間に2～3本の発着)

※詳しい時刻表は草津市観光物産協会Webをご確認ください▶



『藤と日本遺産を巡るスタンプラリー』

①～⑥ごとにオリジナルスタンプを押して、日本遺産プレミアムカードをゲットしよう!

※琵琶湖博物館、水生植物公園みずの森、道の駅草津、花摘寺跡、常盤まちづくりセンターのスタンプはありません。

① 惣社神社

② 三大神社

③ 志那神社

④ 老杉神社

5/3日限定

⑤ 印岐志呂神社

5/3日限定

⑥ 芦浦観音寺

5/4・5日限定

特典
その1

日本遺産プレミアムカード

スタンプを押したスポットのカードをプレゼント! (各スポット先着100名)



特典
その2

出会い箸

※写真はイメージです
3ヶ所以上スタンプを押した方にプレゼント! (先着50名)



スタンプ
コレクト用の台紙も
用意しています。

5/3日・4日・5日限定 賞品は当日「常盤まちづくりセンター」でお渡しします。

共催：草津市観光物産協会、草津市、草津市教育委員会、人と地域が輝く常盤協議会

びわ湖
草津

**藤と日本遺産に
会いに行こう!**

無料
バス

出会いバスで



老杉神社
(下笠のサンヤレ踊り)

芦浦観音寺

藤の花が
ほんとにスゴイ!

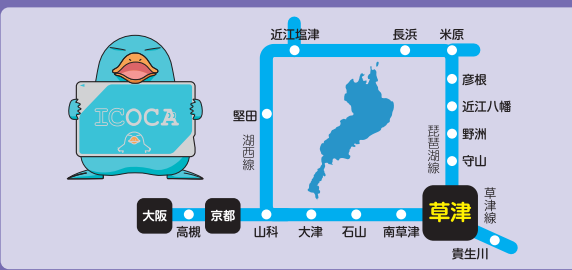
水生植物公園
みずの森

琵琶湖博物館
(トンネル水槽)

2019年
5月3日(金)～5日(日)

出発場所 常盤まちづくりセンター
〒525-0006 草津市志那中町111番地1

運行時間 10:00～15:20まで
(1時間に2～3本の発着)



特典
その1

スタンプを押したスポットの
**日本遺産
プレミアムカード**
プレゼント!

特典
その2

3ヶ所以上スタンプを
押した方に
出会い箸
プレゼント!

【お問い合わせ先】草津市観光物産協会
077-566-3219 ※詳しくはこちら▶



賞品はどちらも「常盤まちづくりセンター」でお渡しします。 ※プレゼントの詳細は裏面へ

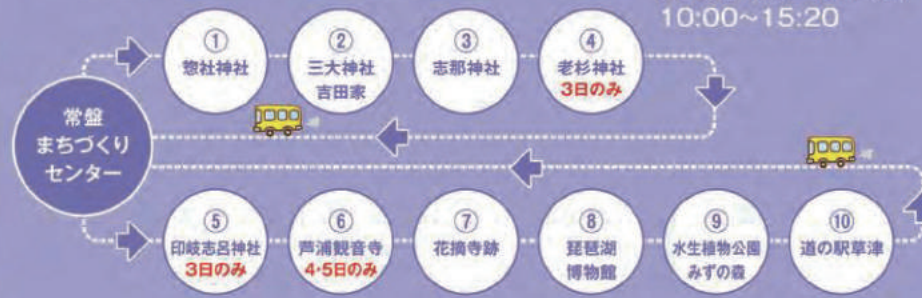
藤と日本遺産を巡る『出会いバスMAP』

「出会いのまち草津」で、藤の花の名所や、普段公開していない文化財の特別公開など貴重な草津の歴史に会い楽しく巡ろう！

サンヤレ踊りは
5/3(金)のみ行われます。

『出会いバス 巡回ルート』

【運行時間】
5月3日(金)~5日(日)
10:00~15:20



常盤まちづくりセンター

1 惣社神社 志那中のサンヤレ踊り(12:30頃~)



志那中のサンヤレ踊りは白い法被をまとい踊ります。三大神社の藤と同じ種類の藤の古木があり、毎年見事な花をつけます。

2 三大神社 吉田のサンヤレ踊り(13:30頃~)



吉田のサンヤレ踊りは白い法被をまとい、踊りと謡の速度が特徴的です。踊りの背後には樹齢400年といわれる藤の古木があり、花房が通常よりもしだれることから「砂ずりの藤」と呼ばれ、見頃には多くの人が訪れます。
¥ 200円

3 志那神社 志那のサンヤレ踊り(13:00頃~)



志那のサンヤレ踊りは太鼓打ちなど白い法被に黒い帯を締めた衣装をまといます。三大神社の藤と同じ種類の藤の古木があり、毎年見事な花をつけます。



特別公開

2 吉田家住宅【現地ガイド付】
吉田家は、近江国守護佐々木氏の支流の土着で、庄屋を務めていました。主屋は享和5年(1834)頃の建築といわれています。幕末に建てられた庄屋の屋敷構えを知る上で価値が高いことから、県指定文化財に指定されています。
¥ 橋堂と共通で150円

本尊特別公開

2 橋堂
橋堂は室町時代に焼かれたといわれ、現在は小堂のみがあります。本尊の木造三面六臂観音立像は、平安時代の作で市指定文化財に指定されています。3つの顔と6本の手をもつ特異な観音像です。
¥ 吉田家住宅と共通で150円

5/3日限定 11:50分頃~13:00分頃のみ停車

4 老杉神社 下笠のサンヤレ踊り(12:00頃~)



市内最大の参加人数で、花笠や色鮮やかな衣装をまとった子どもたちが中心となって踊ります。大人は飛龍文や波文が入った衣装を身にまといます。

5/3日限定 11:55分頃~14:10分頃のみ停車

5 印岐志呂神社 片岡のサンヤレ踊り(12:00頃~)



片岡は多くが黒襟に白い法被の衣装をまといますが、太鼓打ちには友禅染の裂地を用いた法被をまといます。長束は3年に一度行われ、子どもが花笠に色鮮やかな衣装をまといます。
(※今年は長束は行われません。)

5/4・5日限定

6 芦浦観音寺【現地ガイド付】



聖徳太子開基・秦野河勝創建と伝える古刹で、特に安土桃山時代から江戸時代の初めには豊田秀吉や徳川家康など多くの権力者との関わりを持ち、琵琶湖湖上交通を管理・掌握した寺院として知られています。
¥ 300円(茶席は別途300円要)

10 道の駅草津



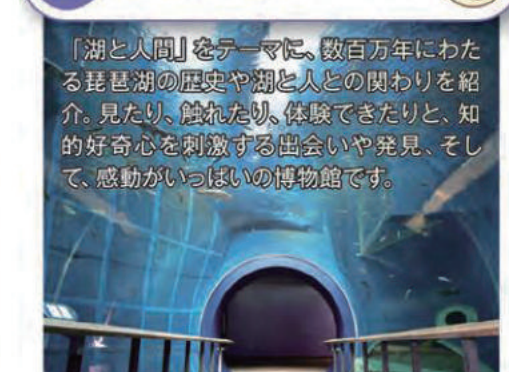
地元の特産品や環境こだわり栽培による近江米や近江牛はもちろん、地元の新鮮な農畜水産物を豊富に取り揃えています。カフェやレストランもあり、お食事もできます。

9 水生植物公園 みずの森



琵琶湖に面した烏丸半島にある全国でも数少ない水生植物公園です。多彩な植物が咲き競う園内。中でも日本最多のスイレンのコレクションは必見です。
¥ 大人300円

8 琵琶湖博物館



「湖と人間」をテーマに、数百万年にわたる琵琶湖の歴史や湖と人との関わりを紹介。見たり、触れたり、体験できたりと、知的好奇心を刺激する出会いや発見、そして、感動がたっぷりの博物館です。
¥ 大人750円

7 花摘寺跡【現地ガイド付】



下物町の天満宮周辺は、昔から古瓦が出土することで知られ、また、柱座のある礎石や石造露盤が残ることなどから、古代寺院が存在したと考えられていました。発掘調査の結果、南北2町・東西1.5町の寺域を持つ寺院であったことが判明しました。
太子堂特別公開

日本遺産とは

日本遺産とは、地域の歴史の魅力や特色を通じて文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するものです。地域に点在する遺産を「面」として活用し、発信することで、地域活性化を図ることを目的としています。

日本遺産「琵琶湖とその水辺景観 - 祈りと暮らしの水遺産」とは

古来より穢れを除き、病を癒すものとして祀られてきた水。その水を豊かに湛える琵琶湖をのぞんで建立された寺は、今日も多くの人々の信仰を集めています。また、琵琶湖とともに育まれた暮らしのなかには、日常の生活に山からの水や湧き水を使いながら、水を汚さない「暮らしの文化」が、伝わっています。

日本遺産 草津の日本遺産

芦浦観音寺

天台宗寺院として600余年の歴史を持ち、特に安土桃山時代から江戸時代中期にかけて湖上交通を管理する船奉行を務めました。堀や石垣、土塁を巡らした城郭のような特徴的な姿をした寺院です。毎年春と秋に一般公開されます。

草津のサンヤレ踊り

室町時代に近畿地方で流行した風流(ふりゆう)踊りの系譜を引いた芸能で、5月3日に琵琶湖岸の地域を中心に演じられています。サンヤレは「幸(さち)あれ」が転訛したものといわれ、農作物などの五穀豊稔を祈るとともにさまざまな災いを追い払うために踊られます。

※神社でのサンヤレ踊りの時間は目安です。